

柳澤吉保像

柳澤吉保は元禄7年(1694)から10年間川越藩主を務め、三富新田の開発などの功績を残しました。写真の肖像画は、吉保45歳頃の姿を描いた寿像(存命中の姿)で、吉保の事績等をまとめた「楽口堂年録」によると、元禄15年に制作が始まり、翌年完成したことがわかります。肖像画の吉保は東帯姿で、前には黒漆塗に金蒔絵が施された文机があり、上には古今和歌集が置かれています。上部には、吉保が詠んだ和歌二首が自ら認められ、儒学に優れた吉保が、和歌の道にも秀でていたことをよく表しています。全体的に公家風の印象が強い吉保像です。現在開催中の、没後300年記念特別展「柳澤吉保とその時代」柳沢文庫伝来の品々を中心に「では、現存する吉保の肖像画4幅が一堂に会しています。ぜひこの機会に鑑賞してみてくださいいかがですか。」

日程：12月1日(月)まで 経費：入館料

狩野常信筆「柳澤吉保像」一蓮寺蔵(山梨県指定文化財)



埼玉川越総合地方卸売市場



市内の商店や飲食店で目にする野菜や魚介等のさまざまな食材。その流通の拠点となっているのが、埼玉川越総合地方卸売市場(大袋)です。毎週土曜日の市場開放日には、誰でも買い物を楽しむことができます。

「例えば同じ野菜でも、一般のスーパーなどに並ぶものから高級飲食店等に向けたものまで、さまざまな種類がそろいます」と語るのは、川越総合卸売市場株の鈴木さん。鮮度や品ぞろえの豊富さが、市場の最大の魅力です。

11月23日には恒例の「川越市場まつり」を開催、生鮮食品の販売や模擬店、催し物などで

わいます。さらに市場開放日にはさまざまなイベントが企画され、年末には歳末フェアも開催されます。皆さんも、新鮮でバラエティーに富んだ食材に会いに、市場に出掛けてみませんか。



昨年の川越市場まつりの様子
今年の市場まつりは、11月23日(例)、午前8時～午後1時(売り切れ次第終了)

今が旬! 11月の川越野菜 市内の直売所などで購入できます

ブロッコリー、ホウレンソウ、コマツナ、ダイコン、キュウリ、ニンジン、ネギ、カブ、サトイモ、キャベツ、ゴボウ、ハクサイ、ミズナ、チンゲンサイ、レタス



援する人、体調管理に気を付けて、みんなで川越を盛り上げよう。

スポーツでは、「小江戸川越ハーフマラソン2014」が11月30日(日)に開催されます。参加する人、応援する人、

目を浮かびます。ポーツでは、「小江戸川越ハーフマラソン2014」が11月30日(日)に開催されます。参加する人、応援する人、

声をあげて応援してました。自分たちの顔ほど大きなサツマイモ。子どもたちが食欲の秋を満喫する様子が目に浮かびます。



朝 晩の空気が涼しくなり、季節はすっかり秋。スポーツの秋、読書の秋、そして食欲の秋。皆さんはどのように過ごしていますか。

表 紙の写真は、サツマイモ掘りの様子。泥んこになりながら、一生懸命掘っている姿を見ると、子どもの頃を思い出し、

編集後記

どんぐり